ニュース発表

EE21-1266F　増田有咲

**秋葉原でコミュニティ通貨「アキコ」導入**

* **概要**

感染症拡大の影響により大きく売り上げが減少した秋葉原を、秋葉原にある企業や店舗が協力して新たな体験の提供と街全体の活性化を目的に、株式会社カヤックが開発した「まちのコイン」というサービスをベースとして、コミュニティ通貨「アキコ」が秋葉原で2022年1月26日から開始。

「アキコ」は、SEGA秋葉原や神田明神、ホテル、メイドカフェなど秋葉原にある55か所(6月15日時点)で利用することができ、2672人（6月15日時点）が利用している。加盟店は現在も受付中で、今後も増加予定。また、事業体が「アキコ」を導入する際の初期費用や維持費はかからない。

* **特徴**

・原則一般的な物やサービスの売買では利用できないが、お金ではやり取りされていない独自の体験をコインで交換することが出来る

例）一杯1000円のカクテルに300コインを追加する、とオリジナルカクテルを作ってもらえる

セガ秋葉原では、100コインの支払いでUFOキャッチャーが1プレイ無料など各店舗ごとのサービス

・円に換金することはできず、コインでやりとりするサービスは店舗側が内容を自由に設定可能で、利用者だけではなく店側にもコインが貯まる

・まちのコインのサービスを導入している他の地域にはない、コアなファンが多い地域性を活かした「アキコ」独自の追加サービスがある

　例）神田明神で買ったお守りをメイド喫茶に持っていき500コインを使うと、メイドさんに特別なおまじないをかけてもらえる

　　　コインを使うと模型工作スペースでは裏メニューとして珍しい塗料を提供してもらえる

・利用者はSDGsなどの地域の社会課題の解決に貢献することでコインを得ることが出来る

　例）マイバッグ・マイボトルの持参

ホテルでの朝食ブュッフェが大量に余った場合に発売される、余った料理を詰めたお弁当を「TABETE」から購入する

　・様々なチャレンジをクリアしたときや、コインを使えば使うほどレベルアップしてボーナスコインを貰えるためゲーム感覚で地域に貢献できる

　・コインには最大180日の使用期限があり期間内に使わなかったコインは失効となるため、利用者はコインを貰ったら繰り返しコインを使うことになりコインは

循環し続けるため、この仕組みを維持することが出来る。

* **利用方法**
1. 「まちのコイン」のアプリをダウンロードする
2. アプリを開いてユーザー登録をして、地域選択で秋葉原を選択する
3. コインのやり取りは店側のQRコードを読み込んでやり取りする
* **感想**

複数のスポットが連携してひとつのサービスを提供しているところもあるので、さらにそうしたところを増やすことで今までターゲットではなかった客層のお客さんやリピーターを獲得できて、より地域の活性化と各加盟店の売り上げを増加させることができるのではないかと感じた。

参考資料

<https://coin.machino.co/regions/akihabara>

<https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/1382896.html>

<https://dime.jp/genre/1311357/>